



平成26年7月14日

各 位

会社名 Oak キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号3113 東証第二部)
問合せ先 広報・IR室長 小玉 誠一
(TEL. 03-5412-7700)

株式会社レッド・プラネット・ジャパン (東証JQS 3350) に向けた成長支援投資のお知らせ

当社はこの度、株式会社レッド・プラネット・ジャパン (以下「レッド・プラネット・ジャパン」) の成長支援を目的とした17.5億円のエクイティファイナンスの引受けを決定いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. レッド・プラネット・ジャパンへの成長支援投資について

同社は平成25年、Red Planet Holdings Pte Ltd 社が親会社となり、事業の多角化を推進しております。新事業戦略としてホテル事業、レストラン事業、スイーツ事業への参入をいたしました。

□ホテル事業では、アジア最大のLCCを運行しているAir Asiaの創業者トニー・フェルナンデス氏がライセンスを保有し、マレーシア、タイ等で人気を博し成功している「チューンホテル」を日本では同社が沖縄にて第一号をオープンさせています。現在東京浅草でホテルを建設しておりますが、今後、都内や地方都市で新設及び稼働中ホテルの買収を計画しています。

□レストラン事業およびスイーツ事業では、本年出資参加致しました株式会社キューズダイニングは札幌で16か所のレストランを運営しております。また5月には新会社を設立して米国で話題となった「セックス・アンド・ザ・シティ」や「プラダを着た悪魔」など、数多くの人気テレビ番組や映画に登場して有名になったカップケーキのスイーツ・ショップ「MAGNOLIA BAKERY」を表参道の一等地に6月にオープンさせ、オープン初日から大盛況となっております。今後は国内に「MAGNOLIA BAKERY」を多店舗展開していく計画です。

当社は、これら取り組みが同社の将来にわたる事業基盤の確立と収益力向上ならびに企業価値向上に向けた成長戦略として高く評価し、同社に対する支援を目的に第三者割当による資金調達を引き受けるものです。

2. レッド・プラネット・ジャパンへの投資総額17.5億円の内訳

新株予約権の引受け：17.5億円 (権利行使による払込み予定総額)

3. 投資後の出資比率

投資総額の当社出資比率は27.20%であります。

4. 投資実行の予定日

払込期日：平成26年7月30日

5. レッド・プラネット・ジャパン会社概要 (平成26年3月31日現在)

- (1) 商 号：株式会社レッド・プラネット・ジャパン (東証JQS 3350)
- (2) 代 表 者：代表取締役社長 小野間 史敏
- (3) 所 在 地：東京都港区赤坂一丁目7番1号
- (4) 設 立：平成11年(1999年)6月
- (5) 決 算 期：9月
- (6) 従 業 員 数：46名(連結)(平成25年9月30日現在)
- (7) 資 本 金：14億43百万円
- (8) 発行済株式総数：105,332,237株
- (9) 株 主 構 成：Red Planet Holdings Pte, Ltd, 40.82%、ミネルヴァ債権回収株式会社 19.08%、日本証券金融株式会社 3.05% 他
- (10) U R L：http://www.redplanetjapan.com/jp/welcome

(11) 事業内容：(ホテル事業) クアラルンプールを拠点とした「チューングループ」とのフランチャイズ契約によるホテル運営

(飲食事業) 持分法適用関連会社である株式会社キューズダイニングの子会社である株式会社スイートスターが手掛ける“カップケーキ”専門店『マグノリアベーカリー』等の運営

(ディストリビューション事業) 連結子会社であるダイキサウンド株式会社が支援するアーティストの音楽CD・DVD販売



<http://tunehotels.com/jp/>



チューンホテル沖縄那覇 (平成25年8月 開業)



<https://www.facebook.com/magnoliabakeryjapan>



『マグノリアベーカリー表参道』(平成26年6月16日 オープン)



<http://qs-dining.com/>



Daiki Sound

<http://daiki-sound.jp/>



6. Oak キャピタルの投資銀行業務及び投資対象分野

・本投資の方針

当社の前期決算(平成26年3月期:売上高41億67百万円、当期純利益5億54百万円)においては、成長支援投資や再生投資分野で大きな成果を上げることができました。また、投資件数においても、IT企業や精密機械メーカーなど中堅・新興上場企業など8社に対して、総額43億500百万円のエクイティファイナンスの引受けを実施いたしました。今期におきましても、国内経済が順調に推移する中で、企業の成長戦略に必要な資金調達が活発となり、当社のエクイティファイナンスの引受け業務の役割は、ますます重要性が増してきました。当社は、従来からの経営方針である新興市場等の上場企業向け支援投資に重点を置き、積極的に展開していきます。この度のエクイティファイナンス投資は同社の成長戦略の成果に寄与すると考えております。

7. 2014年度の投資分野

投資分野の選定につきましては、将来、高い成長が見込まれ、市場規模が拡大すると当社が判断した分野である、情報通信や精密機械、ブランド企業、未来産業としてのロボット、フードビジネス、不動産、教育産業、ライフライン、メディカルや美容と健康などを選定して、投資案件の開拓及び企業価値の向上に努めております。

8. Oak キャピタルの事業投資分野

・海外企業と合弁で展開するブランド事業やIT産業への事業プロジェクト投資



Digital POST



PCやスマホから
手紙・DMを送れる
デジタルポスト。



協力

HITACHI 株式会社 日立システムズ
Lithmatic
FLIGHT
SOFTFRONT www.softfront.co.jp
FUJIFILM
JP
三菱UFJニコス

FM軽井沢

77.5FM RADIO STATION

軽井沢FMラジオ放送局

主要株主

Oakキャピタル株式会社 (85.91%保有)	株式会社長野放送(NBS)
信濃毎日新聞株式会社	株式会社八十二銀行
信越放送株式会社(SBC)	株式会社プリンスホテル

